

ふるさとのみなさんへ



金子 栄男さん
(鳥居出身・88歳=盛岡市在住)

私の生家は鳥居の鶺鴒神社の近くにありました。小学生のときは鳥居から約1時間かけて山道を通ったものでした。私はもともと学者になりたかったのですが、兄弟は9人で、戦時中でもあったことから、岩手県立工業学校(現盛岡工業高校)、東京理科大学へ進み、実業家を目指しました。

昭和23年、戦後の大混乱した時代はディーゼル自動車の勃興期で、私は東京から帰り誰も手がけていないディーゼル自動車の修理事業を久慈市で始めました。その後、昭和33年に外山ダム工事用ブルドーザーが初めて県内に配車されたことから、建機の将来性を見越し、建設機械の販売と修理業も始めました。起業を成功させるためには、時代を読み、先手、先手でやる必要があります。常に挑戦心を持ち続けこれまでできました。

現在は東京を離れ盛岡で暮らしておりますが、思えば、普代を離れて70年以上がたちました。石川啄木の詩と同じで私の中では、「かにかくに普代村は恋しかりおもいで山おもいで川」であります。思い出深い普代の風景は、いつまでも私の心の残っております。

最後に、今後も普代村がますます発展されますことを祈っております。

※このコーナーでは今月号から村外に暮らす村出身者の皆さんを紹介します。

「まぎ拾いに行ったなんす」



割澤 スミコさん(秋牛・75歳)

まぎ拾い

《305》

★…私が小学校の時代は戦争中で、勉強はあんまりしないで、勤労奉仕や防空壕を掘ったりしていました。★…兄弟は4人。小学3年生のとき母親を亡くし、長女の私は必死に稼ぎました。畑をまいで、作物を採って食べないばならないがなんす。冬にはストーブのまきが間に合わなくなって、毎日弟と一緒にまぎ拾いに行きました。朝はまだ雪が固くてよがったども、帰りはまぎの重さで、雪に足がはまって大変だった思い出があります。★…今はここ(生活支援ハウス)で皆さんにお世話になりながら、安心して暮らしています。

文芸の世界

川柳愛好会
1月例会作品

満天の星の世界の流星群
何事もテンポの鈍い我が煩悩
生きざまはどうあれ今日も太陽が落ちる
嵯峨 待女

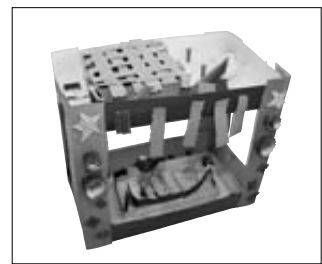
母の手はいつも冷たい水仕事
未完成のまま一生が黄昏る
奥深い趣味にも裏のある世界
三上 翠香

寒い朝早起すれば銀世界
メール打つテンポ早や過ぎ誤字脱字
餅つきのテンポ合せるあの手つき
自由です十七文字の詩の世界
北野多佳子

世界中の何処かで今日も自爆テロ
ひやひやで検査結果のカルテ見る
酒を呑むテンポは若い時のまま
加差野静浪

「物語の絵『やまなし』 5年 中花 成くん

ほかほか流れて行くやまなしの後を追うカニの親子を描きました。はっきりとした色あいに仕上げました。



「コココココ ガラート」
4年 日向 佳奈さん

横にあるものを工夫しました。難しかったのは、下の段のグルグル回る迷路を作るところでした。



「うさぎ」 2年 道上 夢子さん

むずかしかったところは、うさぎの体の形に切るところでした。色紙をきれいに切ることができました。



ぼくたちの作品展

堀内小
図画
工作

「最近、2人とも運動不足です」

高校卒業後、家の水産加工業を継ぐため、仙台市の仙台中央卸売市場で3年半修行を積んでおとしの9月に村に戻って来たという金子太一さん。奥さんの佳子さんとは市場の管理棟で知り合ったそうです。

人。佳子さんは「太一はおしめ替えもしてくれるのでほんと助かってますよ」とほほ笑みます。太一さんは野球、佳子さんはバスケットボールが好きという体育会系の2人。仕事と子育て以外、体を動かす機会がなくなり、運動不足気味といえます。

子どもが小さいので、家で映画とカ見ていることが多いです。趣味は。時代劇や大河ドラマを見るのが好きです。水戸黄門も好きです。(奥さん笑い) ー今、してみたいことは。葵ちゃんを連れて新婚旅行で行ったオーストラリアにまた行きたいです。ー村へひと言。地球温暖化の影響で海も変わってきていると思います。が、これからはサケが捕れればいいです。ー次号には、誰を紹介してくれますか。芦渡の前川宏司さんです。

MY FRIEND Vol.11

友達の友達は…みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は、黒崎の金子太一さん(23)です。



左から太一さん、長女の葵ちゃん(3カ月)、奥さんの佳子さん(26)